

令和6年度 宮崎県立宮崎東高等学校 学校評価

教育目標	自ら求めて学び、すんで社会に貢献する、人間性豊かな生徒の育成をめざす			学校関係者評価のポイント	
経営方針	豊かな人間性を有し、心身ともに健康で自信と誇りを持って社会生活を送り、地域社会に貢献できる生徒を育てる (1)多様な学びの場の提供 (2)将来を展望した在り方・生き方の確立 (3)基礎学力の定着と授業力の向上			<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 自己評価の結果は、指標等を基にした妥当なものであるか。 自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。 	
本年度の重点目標	(1)責任を果たす学校 (2)個性の溢れる学校 (3)信頼される学校 (4)開かれた学校 (5)元気のできる学校			※ 自己評価、学校関係者評価とも、A~Dの4段階評価とする。	
重点目標	評価項目	具体的な指標	自己評価	評価	評価・具体的な意見
(1)責任を果たす学校	①知・徳・体の力を確実に修得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力テストの実施 ○単位習得率の向上 夜間部 90%以上、昼間部 85%以上 通信制 65%以上 	<p>【夜間】基礎学力テストは業者テストを辞めて、実態に応じたレベルで自主作成した。特に新入生徒の学力把握に役立った。夜間部の単位習得率は合計で98%であった。生徒の欠課時数が多いのは気になる傾向である。通信併修の単位修得率が向上した。夜間部の進路目標達成率は63%である。多様な価値観を持つ生徒達にとって、高校卒業は人生の大きな節目になっていないように感じる。生徒の主体性を尊重しつつ、生徒の視野を広げる進路指導を行っていきたい。</p> <p>【昼間】入学前のテスト実施、ベースックでマナトレ確認テスト実施、単位修得率90%前後を維持。このまま継続していく。求人の増加により、条件の良い就職先が増えてきているが、生徒保護者の意識が低い場合が多い。卒業で精いっぱいという生徒もいる。総探やLHRの工夫・改善をしていきたい。</p>	B	<p>○多様な生徒が在籍している貴校において、生徒の学力の実態把握や個に応じたきめ細かな指導等の成果が単位修得率の向上に繋がっている点は大きい評価できる。</p> <p>○テストの工夫や生徒に寄り添った進路指導など、現状に即した対応がなされている。</p> <p>○夜間部では、業者テストを辞めて自主作成し、新入生徒の学力把握に努めている。また、生徒を支援する上で、通信併修などの工夫は、生徒中心の取組として大切なことだと思います。</p> <p>○通信制では、担任と教科担当者との連携で単位修得率を向上させたということで、配慮を要する生徒達に対しては最も大事なことだと思います。</p>
	②進路目標を達成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○進路目標の達成 夜間部 90%、昼間部 90% ○卒業資格の達成 夜間部 90%、昼間部 90% 	<p>【通信】通信制の「単位修得率」は、65.0%であり、担任や教科担当者の連携を図ることができ、今年度は目標の単位修得率となった。「進路目標達成率」は、56.5%であり、様々な考え方の生徒がいる中で、先生方が個々に応じた進路指導を粘り強く行った。3科目の試験で、よくやく内定した生徒もあり、諦めずによく取り組んでくれた。今後さらに生徒の主体性・自主性を尊重しながらも、生徒の特長を生かした進路指導の在り方を模索したい。</p>	B	<p>☆進路目標の達成については、単に数値目標のクリアに留まらず「社会や企業が求める力」をどう身に付けさせるか等の観点から、より早い段階から意図的・計画的なキャリア意識の醸成・支援に努めて頂きたい。</p> <p>☆不登校生徒が多く入学するようになり、不登校だった背景も多岐にわたり、それに対応できるよう学校も工夫する責任があると思います。中学校から配慮する情報など得ておくシステムなどを、SCやSSWなどと協議してその内容を工夫することも考えられると思います。</p> <p>☆卒業後の進路などが多く取り上げられていますが、中退や進路が決まらない生徒もいると思います。卒業後ひきこもり状態になるとどこからも支援を受けられなくなります。保護者等にはそうなった場合、相談したり活用できる場所などについての情報も伝えておく必要があると思います。</p>
(2)個性の溢れる学校	①一人ひとりのよさを認める。	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活アンケートの実施 ○部活動の活性化 	<p>【夜間】夜間部では、全員面談(5、6月)やリクエスト面談(11、12月)といった全生徒を対象にした面談も行っており、生徒理解に努めている。数学では、一部で習熟度編成クラスで学び直しを行った。部活動は年間を通じて活動が行われている。学校行事への参加率は文化の部95.1%、体育の部94.9%で今年も高かった。校内居場所カフェを月2回のペースで行っており、学年を越えた交流の場となっている。</p> <p>【昼間】学校行事参加率 文化の部 96.1%、体育の部 92.2%、文化の部個人発表多数。すべての教科でタブレット使用・検索自由・授業のぶり返し実施。教育相談部の計らいで、冬休み明けの生徒の状況調査を実施できた。部活動は以前と比べて百人一首、バーレーボールが新たな活動を始めている。部活動加入者が少し増えている。</p>	A	<p>○生徒理解のための面談やアンケート、居場所カフェの設置や教育相談など、個性を尊重するための工夫が行われている。</p> <p>○面談を多くしたり、学校行事への参加、部活動を新たに増やすなど生徒が参加しやすい工夫がなされていると思います。</p> <p>○通信制ではICT教育の活用で学校参加がしやすくなり、スマートステップで学力や社会参加が促進されると思います。</p>
	②個性を伸長し、自己肯定感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事参加率の向上 夜間部 文95%、体90% 昼間部 文90%、体85% 通信制 文15%、体20% 	<p>【通信】「アンケート」は、3・4月及び8・9月に「いじめ等に関するアンケート」を実施し、実態把握に努めた。「部活動活動生」は、体育20名・文化21名であり、今後活動生の増加を推進したい。「学校行事参加率」は、文 16.9% 体 14.6% 新入学生歓迎行事 29.9% であり、学校行事や生徒会行事の活性化が図られている。</p>	A	<p>☆不登校・経済的困窮・発達障がい等により、自己肯定感の乏しい生徒が少なくないと思います。今後とも一人ひとりの良さを認め、これから社会を生きる共通科目(国語、数学、英語など)の高校時代に身に付けておくべき基礎学力の向上・定着やキャリア教育の推進・充実に粘り強く組織的な取組をお願いしたい。</p> <p>☆全ての生徒に「自信と誇り」を持たせる教育を展開していただきたい。</p>
	③個に応じた学びの環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT活用による学びの補償 教材開発や講演等の充実 ○教育相談体制の充実(通級含む) 	<p>「ICT活用」は、Google Classroomの活用が定着し、担任からの丁寧な情報発信が見られる。協力校のWifi回線を活用した授業が見られるようになった。デジタル採点システム「百問線乱」が導入され、テストの採点で使用された。レポート添削への活用については、課題があることから、今後継続して検証したい。通信制の説明動画作成や情報発信及びオンラインによる生徒支援を行う「ICTラボ」新設の目途が立った。「教育相談体制」は、SSW、SCとの連携を密にし、生徒の家庭、学習、交友関係などの悩みをくみ取り、支援を充実させることができた。</p>	A	
(3)信頼される学校	①服務規律の遵守に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員に対する面談等の実施と各種取り組み コンプライアンスに係る報告・相談 コンプライアンスチェックシートの活用 	<p>【夜間】全職員を対象としたコンプライアンス研修以外にも、コンプライアンス推進プログラムに掲げた5つの重点事項について定期的に取組確認を行った。コンプライアンス推進委員会で分析や今後の取組を協議して周知を図るなど、職員の意識を高めた。職員研修は、生徒理解研修、人権に関する研修、保健衛生に関する研修などを行った。また、防災訓練は4月に実施することで、全生徒全職員に避難経路を確認できた。</p> <p>【昼間】コンプライアンス通信やチェックシート等の活用で、比較的の遵守できている。管理職がリードし、話しやすい職場環境を今後も作っていく。感染症等発生時の速やかな対応(報・連・相)ができた。学校保健委員会(衛生委員会)と同時に開催し、生徒の健康の問題等について2課程2部の情報共有と生徒保護者への共通理解を深めた。学校医を交えての委員会も2月20日に予定。</p>	B	<p>○服務規律の遵守や危機管理意識の向上のために、学校全体で様々な取り組みを展開されていることに敬意を表します。今後とも職員の共通理解に基づく組織的指導体制の確立に、尚一層努めていただきたい。</p> <p>☆外部からはみえにくい分野であるため、一層の取り組みに期待したい。特に危機管理意識は社会のことを自分事としてとらえる学習として大切な課題だと考える。</p>
	②危機管理意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○各種職員研修等の取り組み 危機管理マニュアルの見直し 防災訓練・AED研修等の実施 感染症対策・情報セキュリティ 	<p>【通信】10月上旬に、通信制課程の教諭及び常勤講師全員に対する面談を行い、教職員理解を図った。コンプライアンス通信を通じて全教職員分印刷し、職員朝礼等で周知を図ったが、交通事故、交通違反が発生し、交通安全及び交通法規遵守に対する継続的な取り組みが必要である。生徒・職員による防災訓練(地震)、職員研修(救急救命 AE D エピペン注射)、危機管理マニュアルの見直しを行うことができた。</p>	B	
(4)開かれた学校	①地域や保護者の期待に応える。	<ul style="list-style-type: none"> ○指導力向上の取組 研究授業・教員相互の授業公開の実施 生徒による授業評価や振り返り 保護者への授業公開の実施 ○積極的な情報発信 	<p>【夜間】総合的な探究の時間に関する夜間部の取組が、時事通信社主催の教育奨励賞で優秀賞を受けた。優秀賞は全国で2校であり、実質2位の受賞であった。総合的な探究の時間に関する授業公開は年3回行っており、遠くは青森県から視察に来られた。生徒への授業アンケートは例年通り年2回実施して、職員の授業改善に生かした。</p> <p>【昼間】5月PTA総会の日に授業公開を実施。特に1年生の保護者の参加が多い傾向、7月8日~11日PTA参観授業週間として全ての授業を公開し、保護者の参加は約30名であった。7月12日に県教委による教科統合があり、指導助言をもらった。授業改善に生かしていく。</p>	A	<p>○総合的な探究の時間に関する夜間部の優秀賞はすばらしい!その取組と結果は称賛に値する。高く評価したい。</p> <p>○地域や保護者に開かれることで、子どもたちの対応や意識も成長している。個性を輝かせる学校として飛躍している。</p>
	②評価結果の公表により、説明責任を果たす。	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価の実施と活用 評価内容の公表と連携 	<p>【通信】「情報発信」は、本年度は適時適切に新しい情報を更新するなどホームページを用いた情報発信を推進した。来年度は、更なる充実に努めたい。「学校評価」の結果を関係校務分掌で検討し、課題改善に努めたい。</p>	A	<p>●生徒による授業評価の結果や振り返りの記載がありませんが…。結果を教えてください。</p> <p>●生徒への授業アンケートを例年通り2回実施して、「授業改善に生かした」とか県教委による教科統合の指導助言を「授業改善に生かしていく」などの記載があるが、具体的な授業改善の内容・取組が知りたい。</p>
(5)元気のできる学校	①連携を密にし、「活力あふれる」職場環境を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌を中心とした組織的な体制づくりの推進(報告・相談等) ○福利厚生事業の充実 	<p>【夜間】管理職への相談や報告は細やかで迅速であり、初期対応から組織的に当たることを心掛けてきた。職員の人数も少なく、意思疎通を図りやすい。</p> <p>【昼間】衛生委員会の開催、研修会の実施(健康づくり教室等助成事業を活用し「日頃からできるセルフケア 講師:九州中央病院臨床心理士」を実施した。) SOSの出し方や受け止め方の職員研修を実施。LHR等で生徒に指導することもできた。</p>	A	<p>○今後とも様々な研修等を通して、生徒への的確な支援を行うと共に職員の指導力向上に努めていただきたい。また、「活力あふれる」職場環境の構築に向けた取組を応援しております。</p> <p>○教職員の方々の研修や報連相による現状把握によって、先生方のエンパシーが發揮できる学校となっている。</p>
	②各種研修等により、資質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○各種研修会への参加 県教育研修センター等主催研修 	<p>【通信】職員朝礼を毎朝実施し、全ての教職員へ情報がしっかりと伝わるようにすることで、風通しの良い職場環境作りを図ることができた。</p>	A	<p>☆これから社会で、生徒が「生きる・学び続ける」上で、どのような学び方や特性が必要となるのか。是非とも検討していただきたい。</p>
			その他		学校行事に参加すると、生徒たちのあいさつや気遣いを感じことがある。来客を尊重していて非常に心地よいことがあった。心の落ち着きを感じ嬉しく感じた。